

センター通信は、医大学内の全教員と希望者の皆さんに配信しております。

センター通信 Vol.39

▼ 目次 ▲

1. 6月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内
2. 国費（科研費以外）助成金 公募案内

1. 6月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内

■□■ （財）風戸研究奨励会 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#kazeto\\_imc17\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#kazeto_imc17_2010_6)

国際会議発表渡航助成 IMC17 (17th International Microscopy Congress)

【対象種目】

電子顕微鏡並びに関連装置の研究・開発及び電子顕微鏡並びに関連装置を用いた研究（医学、生物学、材料学、ナノテク、その他）

【助成金額】

1件につき40万円

【応募資格】

IMC17での研究発表をご自身でなさる2010年6月18日（金）現在、満40歳以下の研究者

※日本からの渡航者に限る

【学内×切】

平成22年6月4日

【推薦者名】

学長の推薦を必要とします。推薦者欄は空欄のままご提出下さい。

【必要書類】

- ①申請書…2部（正本1部・写本1部）
- ②対象会議で発表予定の論文の予稿（コピー）…2部

■□■ （財）テルモ科学技術振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#terumo\\_1\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#terumo_1_2010_6)

2010年度（平成22年度）特定研究助成

【研究テーマ】

『生体成分・細胞・合成薬剤等を組み入れた Combined Devices（複合的・複合型医療機器）』に関する基礎研究及び応用研究

【助成金額】

1,000万円/年

【助成件数】

1件

【助成期間】

原則として3年間（2010年12月から）

【応募資格】

国公立大学及びその附属研究所・施設、国公立研究所・施設に所属する研究者で、それぞれ所属研究期間・施設を医にする2～3名程度で構成する共同研究

【学内×切】

平成22年6月9日

【推薦者名】

学長または学部長の推薦を必要とします。応募の際にはセンターで事前に承認を頂くこととなりますが、募集要項をご参照の上、推薦者欄に該当する推薦者名を記入して、ご提出をお願いします。

**【備 考】**

学内選考があります（1 推薦者 1 件）

※別項の「一般研究助成」を含めて 1 推薦者から 1 件

**【応募書類】**

- ・ 特定研究申請書 2 部（正本 1 部・写本 1 部）
- ・ 申請書のワードファイルを保存した CD1 部
- ・ 共同研究同意書 2 部（正本 1 部・写本 1 部）
- ・ 3 論文以内を各 2 部（コピー可）

※申請書は両面印刷で 3 枚（6 頁）とし、ワープロ作成

■□■ （財）テルモ科学技術振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#terumo\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#terumo_2010_6)

2010 年度（平成 22 年度）一般研究助成

**【研究領域】**

- ①医療用先端材料（ナノテクの応用なども含む）
- ②低侵襲・QOL の向上に役立つ診断・治療法
- ③再生医療（機能再建なども含む）
- ④次世代医療機器—人工臓器や標的治療を目的としたデバイス（DDS など）
- ⑤診断・治療を目的とした生体成分・生理活性物質
- ⑥予防医療（感染、在宅医療、統合医療など）
- ⑦医療経済

**【助成金額】**

100 万円/1 件

**【助成件数】**

15 件

**【助成期間】**

1 年間（2010 年 12 月 1 日から 2011 年 11 月 31 日まで）

**【応募資格】**

公私立大学及びその附属研究所・施設、国公私立研究所・施設に所属する研究者

**【学内〆切】**

平成 22 年 6 月 9 日

**【推薦者名】**

学長または学部長の推薦を必要とします。応募の際にはセンターで事前に承認を頂くこととなりますが、募集要項をご参照の上、推薦者欄に該当する推薦者名を記入して、ご提出をお願いします。

**【備 考】**

学内選考があります（1 推薦者 1 件）

※別項の「特定研究助成」を含めて 1 推薦者から 1 件

**【応募書類】**

- ・ 一般研究申請書 2 部（正本 1 部・写本 1 部）
- ・ 申請書のワードファイルを保存した CD1 部
- ・ 3 論文以内を各 2 部（コピー可）

※申請書は両面印刷で 3 枚（6 頁）とし、ワープロ作成

■□■ （財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#iryokeiza\\_i\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#iryokeiza_i_2010_6)

2010 年度（第 14 回）研究助成

**【対象分野】**

- ①医療保険及び介護保険に関する研究
- ②診療報酬及び介護報酬に関する研究（①を除く）
- ③医療・介護の分野の資源配分に関する研究
- ④医療・介護産業に関する研究
- ⑤その他、医療・介護サービスに関する研究

**【対象期間】**

2010 年 10 月から 2011 年 9 月末までに実施する研究

**【助成金額】**

1 件当たり 50 万円～100 万円

【助成件数】

5 本程度

【応募資格】

- ・対象分野に関する科学的実証的研究を志向する個人又はグループ
- ・主たる研究者は、国内研究機関に常勤で勤務・所属する研究者・院生を対象とします
- ・主たる研究者は、40 歳以下を対象とします

【学内×切】

直接応募 平成 22 年 6 月 30 日（必着）

【申請方法】

団体の HP (<http://www.ihep.jp>) から E-mail ([grant@ihep.jp](mailto:grant@ihep.jp)) にて直接申請してください。また、センターでの保管用に、応募様式の写し 1 部をセンターまでご提出ください。

■□■ （財）千代田健康開発事業団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#chiyoda\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#chiyoda_2010_6)

平成 22 年度 社会厚生事業助成金制度 第 57 回 医学研究助成

【対象種目】

成人病・老年病を主体とした公衆衛生に関する研究(看護・介護に関する研究を含む)

【助成金額】

1 団体あたり 100 万円

【助成件数】

15 団体以内

【応募資格】

研究者グループでの応募となる

尚、管理職（教授・部長）の方の応募は控えて下さい

【学内×切】

平成 22 年 6 月 9 日

【推薦者名】

学長の推薦を必要とします。

推薦者欄は空欄のまま提出してください。

【応募用紙について】

研究課題の内容は、タテ A4 版・横書きで 5 枚程度に要約してください。  
※研究題目、団体(所属)名、氏名(代表者)を記載してください。

■□■ （財）ファイザーヘルスリサーチ振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#pfizer\\_kyodokenkyu\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#pfizer_kyodokenkyu_2010_6)

第 19 回（平成 22 年度）共同研究事業助成

【対象種目】

- ①国際共同研究事業
- ②国内共同研究事業（年齢制限なし）
- ③国内共同研究事業（年齢制限あり）

【研究対象】

保健医療・福祉分野の政策あるいはこれらサービスの開発・応用・評価に資する研究テーマについて国際的な視点から実施するヘルスリサーチ領域の共同研究

※研究領域の詳細は募集要項参照

※厚生労働科学研究費補助金が交付されている「同一内容の研究課題」は助成対象としない

【研究期間】

原則として平成 22 年 11 月から平成 23 年 10 月末までの間に実施される研究

【助成金額】

- ①1 件につき 300 万円以内 10 件
- ②1 件につき 100 万円以内 15 件
- ③1 件につき 100 万円以内 15 件

**【応募資格】**

①②③保健・医療・福祉及びその関連領域において研究を志向する国内在住者

①主たる共同研究者を1~2名程度(海外共同研究者を1名以上含めること)定めること

②③主たる国内共同研究者を1~2名程度定めること

③平成22年4月1日現在における年齢が満39歳以下である者

**【学内×切】**

平成22年6月9日

**【推薦者名】**

学長または学部長の推薦を必要とする場合の推薦書は、署名・捺印欄のみ空欄としてください。また、提出時に学長、学部長どちらの推薦を希望するかをお伝え下さい。

**【申請書類について】**

- ・申請書(自署で署名・捺印下さい)
- ・別紙1
- ・別紙2
- ・推薦書(自署で署名・捺印下さい)
- ・共同研究同意書(自署で署名・捺印下さい)

※片面印刷をお願いします。

**【添付するもの】**

- ・論文(3編以内)各2部
- ・申請書・推薦書・共同研究同意書をCD-ROMまたはフロッピーディスクに保存したもの1枚

-----  
■□■ (財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#pfizer\\_forum\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#pfizer_forum_2010_6)

第17回ヘルスリサーチフォーラム一般演題募集

**【フォーラム基本テーマ】**

社会と共進化するヘルスリサーチ

**【研究内容】**

制度・政策、医療経済、保健医療の評価、保健医療サービス、保険医療資源の開発、医療哲学等のヘルスリサーチの研究

**【発表】**

採用された場合は、平成22年11月6日(土)に開催される第17回ヘルスリサーチフォーラム(会場は東京都)において15分程度の講演または、併催するポスターセッションでの発表

**【助成内容】**

フォーラム開催都市までの交通費を支給

**【学内×切】**

平成22年6月9日

**【応募方法】**

財団所定の申請書式に必要事項を入力の上、印刷しセンターに2部提出してください。

また、センターからE-mailにて申請内容を財団宛に送信いたしますので、申請内容のWordファイルをメールに添付しセンター藤原宛(fuji421@sapmed.ac.jp)に送信して下さい。

-----  
■□■ (社)日本損害保険協会 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#sonpo\\_tokutei\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#sonpo_tokutei_2010_6)

交通事故医療特定課題研究助成

**【研究課題】**

- ①神経系の画像診断に関する基礎および臨床研究
- ②高齢外傷患者における問題と対策
- ③てんかんにおける問題点：外傷との関係を中心に

**【研究期間】**

助成金の交付日より2年間

**【助成金額】**

300万円～500万円/件

【助成件数】

6～9件程度

【応募資格】

交通外傷に携わる医師等の研究者

【学内×切】

平成22年6月1日

【備考】

申請書の記載はワープロでお願いします

-----  
■□■ (社) 日本損害保険協会 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#sonpo\\_ipp  
an\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#sonpo_ipp<br/>an_2010_6)

交通事故医療に関する一般研究助成

【助成対象】

交通事故医療に関する臨床的研究

【研究期間】

助成金の交付日より1年間

【助成金額】

100万円/件

【助成件数】

34件程度

【応募資格】

交通外傷に携わる医師等の研究者（個人またはグループ）

【学内×切】

平成22年6月1日

【推薦者名】

担当教授の推薦が必要です。推薦者欄をすべて記入し、押印を頂いてから、ご提出をお願いいたします。【備考】

申請書の記載はワープロでお願いします

-----  
■□■ (社) 中央味噌研究所 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#miso\\_ever  
yday\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#miso_ever<br/>yday_2010_6)

平成22年度 委託研究・研究助成

【研究領域】

(1) 機能性部門

1) 委託研究

みその高血圧抑制作用に関する臨床研究又は疫学的調査研究

2) 研究助成

①味噌の機能性に関する研究

②味噌の機能性に関する疫学的調査研究

(2) 製造技術部門

1) 委託研究

製品味噌（熟成終了品）の加熱殺菌・アルコール添加以外による発酵抑制法

2) 研究助成

①味噌の製造技術・微生物に関する研究

②味噌の調理機能及びその他特性に関する研究

【研究期間】

平成22年10月1日より1ヵ年

【助成金額】

(1) 機能性部門

委託研究 500万円以内

研究助成 100万円以内

(2) 製造技術部門

委託研究 200万円以内

研究助成 100万円以内

【助成件数】

応募状況にて決定

【応募資格】

- ・日本国内の企業、大学・短期大学及び研究機関に所属する研究者またはそのグループ
- ・同研究にて他の助成金を受けていないこと

【学内×切】

平成 22 年 6 月 16 日

【備 考】

最近の研究論文又は報文を 2 部添付してください

-----  
■□■ (財) 黒住医学研究振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#kurozumi\\_kenkyu\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#kurozumi_kenkyu_2010_6)

第 18 回研究助成事業

【助成対象】

臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を対象とし、若手の育成を主眼とする

【対象領域】

- ①臨床化学
- ②分子生物学 (医学)
- ③臨床微生物学
- ④臨床免疫学
- ⑤検査血液学
- ⑥人体病理学
- ⑦疫学

【助成額】

1 件 100 万円 (最大)

【件数】

10 件以上

※原則として単年度とするが、内容によっては助成を 2～3 年継続することも考慮する

【応募資格】

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人及び団体

※大学教授及び国公立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除く

【学内×切】

平成 22 年 6 月 16 日

【承認欄】

学長と担当教授の承認を必要とします。所属機関長名は空欄とし、直属所属長名は担当教授の自筆で署名・捺印を頂いてからご提出ください。

【推薦者欄】

学長・学部長・担当教授いずれかの推薦が必要です。学長・学部長の推薦を希望する場合は、推薦状欄のみ記入し、推薦者欄は空欄としてください。また、提出時にどちらの推薦を希望するかお伝え下さい。担当教授の推薦の場合は、教授自筆の署名・捺印を頂いてからご提出をお願いします。

【添付書類】

最近 5 年間の発表実績リストは、主なもの 10 編以内を別紙に 4 部添付してください (申請課題に関係なく記載し、A4 版の用紙に横書きのこと)

-----  
■□■ (財) 黒住医学研究振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#kurozumi\\_syo\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#kurozumi_syo_2010_6)

第 46 回小島三郎記念文化賞

【対象領域】

病原微生物学・感染症学・公衆衛生学その他これらに関連した領域

【審査対象】

最近の業績であり、かつ評価の定まったもの

【助成金額】

賞状・記念トロフィー・副賞

【応募資格】

病原微生物学・感染症学・公衆衛生学その他これらに関連した領域において、優秀な業績をあげた者

【学内×切】

平成 22 年 6 月 16 日

【推薦者名】

学長の推薦を必要とします。推薦票は推薦理由等の記載にとどめ、推薦者氏名・所属・職名・推薦者所属住所欄は空欄のままご提出ください。

【添付書類】

論文別刷等を 2 部ご提出ください

■■□■ (財) 母子健康協会 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#boshi\\_syo ni\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#boshi_syo ni_2010_6)

平成 22 年度小児医学研究助成

【趣旨】

小児医学分野における研究を推進し、小児医学の進歩、小児の健康に寄与することを目的とする

【対象課題】

小児医学に関連する研究で小児の健康増進、疾病の予防と治療に役立ち得るもの

【助成金額】

最高 150 万円まで

【応募資格】

大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する 50 歳未満の研究者

【学内×切】

平成 22 年 6 月 9 日

【推薦者名】

学長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります (1 機関から 1 件)

※申請内容は所定の様式 (A4 サイズ・3 頁) 内に必ず納めて下さい

■■□■ (財) 大川情報通信基金 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#okawa\\_syo\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#okawa_syo_2010_6)

2010 年度 大川賞

【趣旨】

情報・通信分野における研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献をされた方の労に報い、その功績を表彰すると共に、情報・通信分野のさらなる発展と啓蒙に寄与することを目的とした国際的な賞

【表彰件数】

原則として日本人の研究者 1 名、海外の研究者 1 名の 2 名

【表彰内容】

賞状ならびに副賞として金メダル、賞金 1,000 万円

【表彰対象】

情報ならびに通信分野における研究、技術開発および事業において、顕著な社会的貢献のあった方

※原則として個人

【学内×切】

平成 22 年 6 月 4 日

【推薦者名】

推薦者の資格等について、特に制限はありません。

学長・学部長の推薦を希望される方は、推薦者欄は空欄のままご提出ください。なお、提出時どちらの推薦を希望するかお伝えください。学長・学部長以外の推薦を希望される方は、推薦者欄をすべて記入してからご提出ください。

【備考】

・ A4 サイズで必要事項の記載があれば、特に所定の様式にならなくても構いません。

・ 経歴、受賞歴等の業績、その他参考となる資料があれば、なるべく添付して下さい。ただし、発表済の論文、著書の添付の必要はありません。

※推薦書の推薦理由は記入してご提出ください。

-----  
■□■ (財)大川情報通信基金 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#okawa\\_syuppan\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#okawa_syuppan_2010_6)

2010 年度 大川出版賞

【趣旨】

情報・通信分野に関する優れた図書について、これを表彰すると共に、情報・通信分野のさらなる発展と啓蒙に寄与していこうとするもの

【表彰件数】

原則として 2~3 件

【表彰内容】

著書に対して、賞状ならびに副賞として銀メダル、賞金 100 万円

出版社に対して、賞状及び賞牌

【表彰対象】

情報ならびに通信分野に関して技術の発展ならびに社会的啓蒙に貢献のあった優れた図書で、2007 年 1 月 1 日以降に発刊されたもの

※著者は原則として個人としますが、数名に限り共著も認めます

※編者は原則として審査の対象外

※図書は原則として日本国内で発刊されたものとしませんが、著者の国籍は問いません

【学内×切】

平成 22 年 6 月 4 日

【推薦者名】

推薦者の資格等について、特に制限はありません。

学長・学部長の推薦を希望される方は、推薦者欄は空欄のままご提出ください。なお、提出時どちらの推薦を希望するかお伝えください。学長・学部長以外の推薦を希望される方は、推薦者欄をすべて記入してからご提出ください。

【備考】

・ A4 サイズで必要事項の記載があれば、特に所定の様式によらなくても構いません。

※推薦書の推薦理由は記入してご提出ください。

-----  
■□■ (財)大川情報通信基金 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#okawa\\_kenkyu\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#okawa_kenkyu_2010_6)

2010 年度 研究助成

【助成対象分野】

情報・通信に関する調査・研究

- ①基礎
- ②通信・インターネット
- ③コンピュータシステム
- ④人工知能
- ⑤バイオ
- ⑥応用
- ⑦人文・社会科学

※詳細は募集要領を参照してください

【助成金額】

1 件あたり 100 万円

【研究期間】

原則として 1 年間

【応募資格】

日本国内の情報・通信分野に関連する研究機関、教育機関における研究者

【学内×切】

平成 22 年 6 月 4 日

【推薦者名】

推薦者の所属・役職等の指定は特にありません。

学長・学部長の推薦を希望される方は、推薦者欄は空欄のままご提出ください。なお、提出時どちらの推薦を希望するかお伝えください。学長・学部長以外の推薦を希望される方は、推薦者欄を記入し押印をいただいてからご提出ください。

【備考】

- ・フォーマットは団体HPのダウンロード先の申込書と同様であれば各自ワープロ等で作成していただいても構いません。
- ・片面 3 ページで作成してください。
- ・原則として 1 人の研究者につき 1 件の応募とします。
- ・カラーの画像の添付は避けるようにしてください。

-----  
■□■ (財) 佐川がん研究助成振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#sagawa\\_gan\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#sagawa_gan_2010_6)

平成 22 年度がん研究助成

【目的】

「がん」の基礎及び臨床における優れた研究を対象とし、若手研究者の育成を目的とする

【研究期間】

1 年間（おおむね平成 22 年 11 月から翌年 10 月まで）

【助成金額】

100 万円/件

【助成件数】

14 件

【応募資格】

・日本の大学、研究機関、医療機関等において、「がん」に関する基礎研究又は臨床研究に携わる日本人研究者及び医療従事者、ならびに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者（個人またはグループ）

・平成 22 年 4 月 1 日現在満 45 歳未満

【学内×切】

平成 22 年 6 月 16 日

【推薦者名】

学長または学部長の推薦を必要とします。

推薦書は候補者氏名・候補者との関係・推薦理由を記載し、推薦者欄は空欄のままご提出ください。また、提出時に希望する推薦者をお知らせください。

【添付書類】

推薦書 5 部（正 1 部、副 4 部）

論文 5 編以内で各 4 部（正 1 部、副 3 部）

※申請書の書体は明朝体、10 ポイントを使用し、必ず枠内に収まるようにして下さい。

-----  
■□■ (財) 北海道科学技術総合振興センター（略称：ノーステック財団）■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#noastec\\_wakate\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#noastec_wakate_2010_6)

平成 22 年度 若手研究人材育成事業

「若手研究人材・ネットワーク育成補助金（Talent 補助金）」

【補助金の目的】

将来の北海道の科学技術力の強化及び新産業創出に向け、研究者の人材育成及びネットワークの形成の視点から、若手研究者への支援を行う

【対象研究領域】

- ・医学系研究領域
- ・理・工学系研究領域
- ・生物・農学系研究領域

【研究期間】

補助金交付決定の日から平成 23 年 3 月 31 日まで

【補助金額】

40 万円以内

【採択件数】

20 件程度

【応募資格】

道内の試験研究機関（大学、民間等）に所属する 40 歳以下の若手研究者  
※ポスドク以上（博士研究員・助教・講師等）、を対象とし、学生は不可とする

【学内〆切】

平成 22 年 6 月 2 日

【添付書類】

- ・ 提案データ入力表：2 部
- ・ 申込書及び提案データ入力表の電子データ：1 式（CD-R 等）

【提出書類について】

- ・ 申込書は必ず片面印刷とし、左肩をホチキス留めしてください。
- ・ 各様式とも手書き、切り貼りしたものは受け付けできません。

■□■ キヤノン財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#canon\\_sangyo\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#canon_sangyo_2010_6)

2010 年研究助成プログラム「産業基盤の創生」

【趣旨】

「人々の暮らしを支え、人間社会が将来も発展していく基盤となる産業」の礎となる研究に対して助成を行う

【対象の分野と研究】

情報・通信、エレクトロニクス、機械・精密、オプティクス・フォトニクス、応用化学、応用物理、ナノテクノロジー・材料などの既存の分野だけでなく、医工連携などの融合分野や新興分野における新たな挑戦的研究を歓迎する

【研究期間】

1 年あるいは 2 年のいずれか

【助成金額】

1 件あたり 2,000 万円以下（総額約 2 億円）

【応募資格】

国内の大学および大学院（付属機関を含む）に勤務し、当該機関で実質的に研究できる方

【学内〆切】

平成 22 年 6 月 16 日

【推薦者名】

学部長の承認が必要です。申込書の承認書欄は空欄のままご提出ください。  
※学外に共同研究者がいる場合は、事前に承認書欄を記入いただいてからご提出ください。

【備考】

【応募手順】

- ① 申込書・申請書を財団 HP からダウンロードし、記入
- ② 応募フォームから申請書を添付して財団へデータを送信
- ③ 財団から受付No.をメールで受信
- ④ 受付No.を記載した申込書・申請書をセンターへ提出

【応募書類について】

- ・ 申込書は、共同研究者の分も必要です。
- ・ 申請書は A4 サイズで両面印刷し、各部左上隅をホチキス留めしてください。

■□■ （財）慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#mansei\\_rehabili\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#mansei_rehabili_2010_6)

平成 22 年度 研究助成

【趣旨】

重要な研究テーマではあるが科研費等の公的予算がなかなかおられないような研究をサポートする

【公募テーマ】

①中・高齢者の健康増進に関する研究

②老化に影響を及ぼす因子の解明

【研究期間】

2年まで

【助成金額】

1件につき20～100万円（総額1,500万円）

【応募資格】

- ・日本国内において公募テーマに関する研究を行う人
- ・募集対象は特定せずに、介護・看護系、保健・予防医学系、家政・栄養系等を含め募集する

【学内〆切】

平成22年6月21日

【推薦者名】

学部長の承認が必要です。申込書の承認書欄は空欄のままご提出ください。  
※学外に共同研究者がいる場合は、事前に承認書欄を記入いただいてからご提出ください。

【添付書類】

これまでの研究業績を示す論文3編以内を各2部

■□■ 日本骨髄腫患者の会 ■□■

[http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan\\_2010\\_6.html#kotsuzuiyu\\_horinouchi\\_2010\\_6](http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#kotsuzuiyu_horinouchi_2010_6)

2011年堀之内朗記念研究助成「多発性骨髄腫研究助成金公募研究課題」

【部門】

基礎的研究部門

【趣旨】

多発性骨髄腫の完全治癒の早期実現と多発性骨髄腫の治療向上に資するため、これにふさわしいと認める研究課題に対して交付する

【研究期間】

2011年1月1日～2011年12月31日の1年間

【助成金額】

150万円

【採択件数】

毎年1件

【応募資格】

日本国内の大学、大学院、研究機関、医療機関などの在籍者

【学内〆切】

平成22年6月16日

【添付書類】

- ①履歴書（学歴、職歴、所属学会、資格等を記入したもの）…2部
  - ②申請対象の研究課題に対して受領中または申請中の助成金などの援助がある場合、その詳細を別紙に記入したもの（同一課題で他から助成金が出る場合には助成対象とならないことがあります）…2部
- ※応募承諾書はセンターで作成します。

2. 国費（科研費以外）助成金 公募案内

●（独）独立行政法人科学技術振興機構（JST） A-STEP 平成 22 年度 フィージビリティスタディ【FS】ステージ

団体名	（独）科学技術振興機構 A-STEP
事業概要 と 目的	A-STEP は、大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を基にした実用化を目指す為の研究開発フェーズを対象とした技術移転支援事業。 事業タイプは以下の三つに分類される。 ●探索タイプ：研究成果の中から技術移転の可能性を探索するフェーズ ●シーズ顕在化タイプ：シーズ候補を企業の視点から掘り起こして、シーズとしての可能性を検証し、顕在化させる実用化を目指し、また顕在化したシーズの実用化を検証するフェーズ ●起業検証タイプ：研究成果を基にしたベンチャー起業により実用化を目指し、製品化に向けて実証試験を行う為に企業主体で起業化開発を実施するフェーズ
審査基準	①課題の独創性および優位性 ②目標設定の妥当性 ③イノベーション創出の可能性 ④申請内容の実行可能性
応募締切	探索タイプ：平成 22 年 6 月 30 日（直接 e-Rad からご応募下さい） シーズ顕在化、起業検証タイプ：平成 22 年 6 月 28 日午後 12 時（産学地域連携センター産学官連携コーディネーター佐藤（内線 2108）まで書類一式をご提出下さい）

## 各支援タイプの助成内容

探 索 タ イ プ	概要	基礎研究のうち実用化に向けた研究開発へのスムーズな移行を目指す研究成果を対象に、起業化への視点に立脚して技術移転の可能性を探索する研究開発を支援
	申請要件等	<p>①JST のプログラムオフィサー (PD) を核とした支援組織が、目的達成の為実施上必要な協力・支援ならびに事業終了後のフォローアップ等、一連の業務についての支援を行う（進捗状況の現地調査等）</p> <p>②産学官連携従事者および企業の開発関係者に、起業化に繋がる可能性・想定される用途等の見解を求める事が必要（申請書に見解を記入する欄がありますので、産学官連携コーディネーター佐藤（内線 2108）まで必ず御連絡ください。また、企業の研究開発研究者に見解の記載を希望される場合も、知的財産権保護の観点から、一度産学官連携コーディネーターまで御連絡下さい。）</p>
	開発費	130 万円（30%を上限とした間接経費を含む）
	開発期間	単年度
	申請方法	<p>府省共通研究開発管理システム (e-Rad) から様式をダウンロード（様式 0~6）し、word または PDF ファイル形式で一つにまとめてから直接申請します。</p> <p>様式 1 及び様式 3 に、産学官連携コーディネーター又は企業の開発研究者による記載がある事を確認した上で、申請して下さい。</p>
	URL	<a href="http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html">http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html</a>

# シーズ顕在化タイプ

概要	産業界の視点（企業ニーズ）で見出されたシーズ候補を対象に、シーズの実現可能性を産学共同で検証する挑戦的な研究開発を支援※ シーズ候補とは、企業の視点で見出されたイノベーション創出のもととなりうる研究成果
申請要件等	<p>①企業に所属する企業責任者と大学に所属する研究責任者の連名の申請が必要</p> <p>(1) 企業責任者は、日本の法人格を有する民間企業に常勤し、自ら研究開発を行う能力がある者に限る</p> <p>(2) 研究責任者は、シーズ候補の創出に関わった大学の研究者であること</p> <p>②JST のプログラムオフィサー (PD) を核とした支援組織が、目的達成の為実施上必要な協力・支援ならびに事業終了後のフォローアップ等、一連の業務についての支援を行う（進捗状況の現地調査等）</p>
開発費	800 万円（30%を上限とした間接経費を含む）
開発期間	単年度
申請方法	<p>A-STEPホームページ先（下記URL参照）から様式をダウンロードし、作成して下さい。</p> <p>【申請に必要な書類】</p> <p>1) 課題申請書・・・電子申請一部、原本一部、コピー6部</p> <p>2) 特許明細書・・・4部（シーズ候補が特許及び出願中の場合、また出願中かどうか不明な場合は、知的財産管理室（内線 2108）まで御連絡下さい。）</p> <p>3) 参考文献等（3点以内）・・・4部</p> <p>※申請者による文献（特許も含む）</p> <p>4) 比較文献（3点以内）・・・4部</p> <p>※コンペティターによる文献（特許も含む）</p> <p>5) 企業パンフレット・・・4部</p> <p>●2）、3）、4）の書類は、右肩に「特許明細書 1」「参考文献 1,2」「比較文献 1,2」と明記して下さい。</p> <p>●1）申請書は、企業責任者および研究責任者の捺印をしたものを原本とし、捺印後のコピーを写しとして提出して下さい。</p> <p><b>提出申請書に産学地域連携センター長印を押印する必要がある為、6月28日（月）午前中までに、上記申請書類一式を、産学地域連携センター産学官連携コーディネーター佐藤（内線 2108）までご提出下さい。</b></p>
URL	<a href="http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html">http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html</a>

# 起業検証タイプ

概要	研究成果に基づくベンチャー企業設立に向け、研究開発を本格的に推進するにさきがけ、企業の可能性を検証する挑戦的な研究開発を支援
申請要件等	<p>①研究責任者と側面支援機関の連名による共同申請である事が必要 （側面支援機関はこちらから参照下さい <a href="http://www.jst.go.jp/a-step/outline/kikan.html">http://www.jst.go.jp/a-step/outline/kikan.html</a>）</p> <p>②申請時点で、研究責任者（シーズの創出に関わった者であること）が発明者である事業化の核となりうるシーズ（特許やプログラム等）が存在する事が必要</p> <p>③シーズを利用した企業の為の事業化構想の構築の為に、検証すべき対象が明確化できている事が必要</p> <p>④企業検証タイプのプロジェクトリーダーは、研究責任者（シーズ創出に関わった者）とする</p> <p>⑤JSTのプログラムオフィサー(PD)を核とした支援組織が、目的達成の為実施上必要な協力・支援ならびに事業終了後のフォローアップ等、一連の業務についての支援を行う（進捗状況の現地調査等）</p>
開発費	800万円（30%を上限とした間接経費を含む）
開発期間	単年度
申請方法	<p>A-STEPホームページ先（下記URL参照）から様式をダウンロードし、作成して下さい。</p> <p>【申請に必要な書類】</p> <p>1) 課題申請書・・・電子申請一部、原本一部、コピー6部</p> <p>2) 特許明細書・・・4部（シーズ候補が特許及び出願中の場合、また出願中かどうか不明な場合は、知的財産管理室（内線 2108）まで御連絡下さい。）</p> <p>3) 参考文献等（3点以内）・・・4部 ※申請者による文献（特許も含む）</p> <p>4) 比較文献（3点以内）・・・4部 ※コンペティターによる文献（特許も含む）</p> <p>5) 企業パンフレット・・・4部</p> <p>●2）、3）、4）の書類は、右肩に「特許明細書1」「参考文献1,2」「比較文献1,2」と明記して下さい。</p> <p>●1）申請書は、企業責任者および研究責任者の捺印をしたものを原本とし、捺印後のコピーを写しとして提出して下さい。</p> <p>提出申請書に産学地域連携センター長印を押印する必要がある為、6月28日（月）午前中までに、上記申請書類一式を、産学地域連携センター産学官連携コーディネーター佐藤（内線 2108）までご提出下さい。</p>
URL	<a href="http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html">http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html</a>

●キーテクノロジー研究開発の推進

社会のニーズを踏まえたライフサイエンス分野の研究開発

革新的タンパク質細胞解析研究イニシアティブ

ー革新的細胞解析研究プログラム（セルイノベーション）ー

<p>団体名</p>	<p>文部科学省研究振興局ライフサイエンス課</p>
<p>事業概要 と 目的</p>	<p>文部科学省では、大規模・多面的なゲノム情報等の解析により細胞・生命プログラムを解明する為に、革新的な解析能力を持つ高速シーケンサー（「次世代シーケンサー」という）を装備した「シーケンス拠点」と多様かつ大量のデータを取り扱う「データ解析拠点」の二つの拠点を構築している。これらの基盤を活用し、遺伝子発現制御、シグナル伝達、代謝制御等の細胞kのう解析を行うとともに、イメージング等によるリアルタイム細胞・組織情報解析研究やシステムバイオロジー研究を一体として行う「先導研究」を実施する。</p> <p>先導研究は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「課題A」 ターゲットとする細胞について、次世代シーケンサーを活用したゲノム、RNA 発現、エピゲノム解析研究等とイメージング等を用いたリアルタイム細胞・組織情報解析研究、システムバイオロジー研究等をいったいとした研究</li> <li>●「課題B」 革新的で新たな次世代シーケンサー利用技術の開発とそれを活用した細胞機能解析研究</li> </ul> <p>に分かれています。</p>

<p>公募概要</p>	<p>事業概要を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な細胞種全体の体系的機能研究を行う先導研究</li> <li>●次世代シーケンサー利用技術（試料調整技術、情報解析技術等も含む）の開発を行う先導研究の追加公募を行います。</li> </ul>
<p>課題A 本プログラムでターゲットとする細胞（下記参照）について、シーケンス拠点と連携して取得するシーケンス解析データに基づく、遺伝子変異、エピゲノム、ゲノム（染色体）構造異常、RNA レベル変化等のデータの作成並びにシグナル伝達や代謝制御等に関してシーケンス拠点及びデータ解析拠点が提供していない必要なデータの取得、シーケンス拠点又はデータ解析拠点との連携によりデータの生物学的な意義付けやデータ間の関連付け等を行います。また、これらを補完するために、イメージング等によるリアルタイム細胞・組織解析やシステムバイオロジー研究を同時に行います。</p> <p>更に、これらの研究に必要な技術について、シーケンス拠点、データ解析拠点、理科学研究所オミックス基盤研究領域と連携して開発を行います。</p>	
<p>課題Aで ターゲット とする細胞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫・神経細胞等のシステム制御機構の解明に資する細胞（前駆細胞を含む）</li> <li>・細胞システム制御機構の解明に資するがん細胞（上皮系細胞や間葉系細胞など正常な細胞との比較を含む）</li> </ul>
<p>必要要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノム解析研究、イメージング等を用いたリアルタイム細胞・組織情報解析研究に強みを持つ研究者から構成されるチームを組んで申請する事。また、システムバイオロジーに強みを持つ研究者がチームに加わっている事が望ましい。</li> </ul>

<p>課題 B 細胞生理学的には重要であるが従来の技術では取得できなかった情報について、次世代シーケンサーを利用して取得するために必要な革新的技術の開発を行います。また、当該技術を本プログラム内で共有するための技術移転等により、プログラム全体の推進に貢献します。</p>	
<p>課題 B で想定される具体的な技術開発の例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定の状態にある細胞をシーケンス解析のために全処理等を行う技術の開発</li> <li>・ シーケンス解析データから新たな情報を抽出する革新的な情報解析技術の開発</li> <li>・ 従来のシーケンス解析手法の大幅な微量化や高速化が可能な技術の開発</li> </ul>
<p>必要要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次世代シーケンサーを利用する為の革新的技術の開発が含まれている提案とすること。</li> </ul>
<p>必要要件 (A. B 共通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シーケンス解析やデータの生物学的な意義付けについて、シーケンス拠点、データ解析拠点と連携すること</li> <li>・ シーケンス解析データ、イメージング等を用いたリアルタイム細胞・組織解析情報等の先導研究で得られた研究成果について、速やかにデータ解析拠点が構築するデータベースに登録する事</li> </ul>
<p>支援額</p>	<p>課題 A. B ともに、1000 万円～4000 万円（間接経費 30%を含む）</p>
<p>採択予定件数</p>	<p>課題 A. B 合わせて数件程度</p>
<p>実施期間</p>	<p>課題 A : 原則として 4 年間（平成 22 年度～25 年度） 課題 B : 原則として 3 年間（平成 22 年度～24 年度）</p>

<p>申請方法</p>	<p>申請に当たっては、</p> <p>①郵送による申請書類提出（紙媒体及び電子媒体） 紙媒体 : 様式 1～8 正本 1 部 副本 2 部 電子媒体 : 様式 1～8 : PDF・WORD ファイルそれぞれ 1 部ずつ</p> <p>②e-Rad による申請書類のアップロード 電子媒体 : 様式 1～8 PDF 若しくは WORD いずれか 1 部</p> <p>③e-Rad による Web 上での入力 の全ての提出が必要です。</p>
<p>①郵送による申請書提出（紙媒体及び電子媒体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請書類を（独）科学技術振興機構 研究推進支援業務室HPよりダウンロードして下さい。<a href="http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh22-1.html">http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh22-1.html</a></li> <li>・ 用紙サイズは全て A4、文字サイズは 10～12pt</li> <li>・ 申請書類中央下に通し番号を記入して下さい（例：1/〇、2/〇）</li> <li>・ 申請書類は、<u>正本はカラー片面印刷、副本は、白黒両面コピーにし、クリップで留める（ホチキス不可）</u></li> <li>・ 申請書類の PDF と WORD ファイルをフロッピーディスクおよび CD-R に記録した者を一部</li> </ul> <p><b>以上の提出書類を、6 月 7 日までに産学地域連携センター 岩窪（内線 2175）まで提出して下さい。</b></p>	
<p>②e-Rad による申請書類のアップロード ③e-Rad による Web 上での入力</p> <p>e-Rad にログインし、電子媒体の申請書類のアップロードおよび Web 上の入力を行って下さい。</p> <p>※e-Rad システムでの登録がお済みでない研究者（本年度より札幌医科大学に就任された研究者を含む）の方は、産学地域連携センターまで御連絡下さい。</p>	

●キーテクノロジー研究開発の推進

社会のニーズを踏まえたライフサイエンス分野の研究開発

脳科学研究戦略推進プログラム

団体名	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
事業概要と目的	<p>文部科学省では、「社会に貢献する脳科学」の実現を目指し、社会への応用を見据えた脳科学研究を戦略的に推進する為に成果を社会に還元する事を目指して、平成 20 年より本プログラムを開始しています。</p> <p>詳しい事業内容については、公募要領 6 頁を参照下さい。  <a href="http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh22-2.html">http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh22-2.html</a></p> <p>平成 22 年度本プログラムでは、以下の課題について、募集を行います。</p>
募集課題	<p>課題 E</p> <p>健やかな人生を支える脳科学を目指して、「発生から老化まで」という人間及び脳神経の一生の「健やかな育ち」「活力ある暮らし」「元気な老い」の 3 段階に着目し、心身の健康を支える脳の機能や健康の範囲を逸脱するメカニズム等を「分子基盤と環境因子の相互作用」という視点で解明することを目的とした「心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子（障害健康脳）」について研究開発拠点を整備し、統合的に研究開発を推進する課題</p> <p>※なお「研究開発拠点」は、個別の単一機関ではなく、多数の研究者の総力を結集した大規模な研究ネットワークチームで構成される。</p>

必要要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題実施に当たっては、中核となる代表機関（代表研究者が所属する機関）に必要最小限の範囲で参画機関を加えた「研究開発拠点」を構成することとする。</li> <li>・ 公募対象とする 3 領域（募集要項の 7 頁目参照<a href="http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh22-2.html">http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh22-2.html</a>）を効果的に組み合わせ、各研究開発班を独立して構成し、更にこれら 3 つの班を統括する「統括班」を構成する事。ただし、1 機関が複数の班を担う事も可能とする。</li> <li>・ 代表機関は、参画機関の研究課題を統括し、課題 A. C. D の研究開発拠点及び課題 B の個別研究課題との連携を密に図る事（※課題 A. B. C. D については、<a href="http://brainprogram.mext.go.jp/">http://brainprogram.mext.go.jp/</a>を参照下さい。）</li> </ul>
支援額	平成 22 年度 約 2～5 億（間接経費 30%を含む）
採択予定件数	一件程度
実施期間	原則として 5 年間（平成 22 年度～26 年度）
申請方法	<p>申請に当たっては、</p> <p>①郵送による申請書類提出（紙媒体及び電子媒体）  紙媒体： 様式 1～8 正本 1 部 副本 2 部  電子媒体： 様式 1～8：PDF・WORD ファイルそれぞれ 1 部ずつ</p> <p>②e-Rad による申請書類のアップロード  電子媒体： 様式 1～8 PDF 若しくは WORD いずれか 1 部</p> <p>③e-Rad による Web 上での入力  の全ての提出が必要です。</p>

①郵送による申請書提出（紙媒体及び電子媒体）

- ・申請書類を（独）科学技術振興機構 研究推進支援業務室HPよりダウンロードして下さい。<http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh22-2.html>
- ・用紙サイズは全て A4、文字サイズは 10～12pt
- ・申請書類中央下に通し番号を記入して下さい（例：1/〇、2/〇）
- ・申請書類は、正本はカラー片面印刷、副本は、白黒両面コピーにし、クリップで留める（ホチキス不可）
- ・申請書類の PDF と WORD ファイルをフロッピーディスクおよび CD-R に記録した者を一部

**以上の提出書類を、6月7日までに産学地域連携センター 岩窪（内線 2175）まで提出して下さい。**

②e-Rad による申請書類のアップロード

③e-Rad による Web 上での入力

e-Rad にログインし、電子媒体の申請書類のアップロードおよび Web 上の入力を行って下さい。

※e-Radシステムでの登録がお済みでない研究者（本年度より札幌医科大学に就任された研究者を含む）の方は、産学地域連携センターまで御連絡下さい。

●健康安心イノベーションプログラム

「後天的ゲノム修飾のメカニズムを活用した創薬基盤技術開発」

団体名	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
事業概要と目的	<p>NEDO では、平成 19 年度に「エピジェネティクスに関する研究動向及び産業応用への課題に関する調査」を実施し、「疾患の原因となる後天的ゲノム修飾の効果的・効率的解析手法の開発を行い、後天的ゲノム修飾を高感度で検出するシステムを構築するとともに、複数種類の癌との関連付けを行うための基盤技術を世界に先駆けて開発することが必要」との結論を得ている。</p> <p>本事業では、後天的ゲノム修飾を現状の 100 倍程度の高感度高精度で解析する技術および解析データの標準的情報処理技術を確立する事を、最終年度平成 26 年の最終目的とし、公募によって研究開発実施者を選定する。</p> <p>≪上記目的を達成する為の研究開発項目≫</p> <p>①後天的ゲノム修飾解析技術開発 ②後天的ゲノム修飾と疾患とを関連付ける基盤技術開発 ③探索的実証研究</p>
実施体制	本研究開発は、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) と研究開発実施者の大学と共同研究契約を締結する研究体を構築し、委託して実施する。

事業規模	平成 22 年度 3.2 億円 (総事業費 19.2 億円)
実施期間	原則として 5 年間 (平成 22 年度～26 年度)
申請方法	<p>申請に当たっては、紙媒体と電子媒体 (CD-R に PDF 形式の電子ファイルを保存したもの) の提出が必要です。</p> <p>理事長印を押印する必要がありますので、</p> <p>○紙媒体 4 部 (正本 1 部、副本 4 部) ○電子媒体 1 部 を、 <b>6 月 14 日までに産学地域連携センター 岩窪 内線 2175) まで提出して下さい。</b></p> <p>募集要項および申請書はこちらからダウンロードできます。 <a href="https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EK/nedokoubo.2010-05-10.6960478684/">https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EK/nedokoubo.2010-05-10.6960478684/</a></p> <p>また、e-Rad に応募基本情報を申請する必要がありますので、e-Rad システムでの登録がお済みでない研究者 (本年度より札幌医科大学に就任された研究者を含む) の方は、産学地域連携センターまで御連絡下さい。</p>

●健康安心イノベーションプログラム

「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発」

団体名	(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
事業概要と目的	<p>NEDOでは、経済産業省からの交付金をもとに「健康安心イノベーションプログラム」の一環として平成19年度より「橋渡し促進技術開発」を実施しています。本公募において平成22年度より新規に開始する研究開発テーマについては、ベンチャー企業と臨床研究者並びに多様な分野の研究者が密接に連携して研究開発を行う体制を作り、「橋渡し研究拠点」等において探索的臨床研究が実施される事を目的としています。</p> <p>実施に当たっては、ベンチャー企業と臨床研究機関の有機的な連携をもって研究開発を進め、これにより、臨床研究機関の拠点化の促進や昨日の充実を通じた我が国の臨床研究基盤の強化につなげます。</p> <p>※橋渡し研究拠点となり得る機関については、募集要項10頁目をご確認ください。</p> <p>( <a href="https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EK/nedokoubo.2010-05-13.6438239033/5e736210225e745ea6516c52df89819818.pdf">https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EK/nedokoubo.2010-05-13.6438239033/5e736210225e745ea6516c52df89819818.pdf</a> )</p>
研究開発テーマ	<p>本プログラム基本計画 ( <a href="https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EK/nedokoubo.2010-05-13.6438239033/6a4b6e21305757fa672c8a08753b(H22.37248).pdf">https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EK/nedokoubo.2010-05-13.6438239033/6a4b6e21305757fa672c8a08753b(H22.37248).pdf</a> ) に合致するとともに、臨床研究企画の拠点化の促進や昨日の充実を通じた我が国の臨床研究基盤の強化につなげる事項を対象とし、以下の</p> <p>(1) の技術分野において</p> <p>(2) の研究開発フェーズに合致する提案を募集します。</p>

(1) 技術分野	<p>①創薬技術 新規コンセプトによる治療薬で、副作用の制御、個人・病態の特性に配慮した治療を可能とする分子標的薬、新規DDS、従来にない高い効果が期待されるワクチン等の新たな創薬技術・システム及びそれらを支援する創薬支援技術や当該創薬技術・システムの有効性、安全性、品質の評価技術</p> <p>②再生・細胞医学技術 新たな疾患治療、患者のQOL向上とを可能とする、再生・細胞医療等技術・システムや当該再生・細胞医療技術・システムの有効性、安全性、品質等の評価技術</p>
(2) 研究開発フェーズ	一定の基礎研究が終了している新たな医療技術システムについて、事業期間内に探索的臨床研究を実施する段階のものを募集
委託額	平成22年度公募分 3億円
実施期間	平成22年度～平成24年度までの3年間を上限
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋渡し研究拠点において探索的臨床研究が実施されると共に、ベンチャー企業と臨床研究者並びに多様な分野の研究者が密接に連携して研究開発を行う体制を構築できる事。</li> <li>ベンチャー企業が単独で臨床研究機関と連携し、プロジェクトに応募する場合は、ベンチャー企業が当該プロジェクトの研究開発成果の実用化計画の立案とその実現について十分な能力を有していること。</li> </ul>

申請方法

申請に当たっては、紙媒体と電子媒体（CD-R に PDF 形式の電子ファイルを保存したもの）の提出が必要です。

○紙媒体申請書

・A4 を利用し、正本は片面印刷、副本は両面印刷を利用し、用紙左端から 12mm のマージンにて 2 穴をあけ、一式ごとにクリップで留めて下さい。（ホチキスは不可）  
理事長印を押印する必要がありますので、

○紙媒体 正本 1 部、副本 5 部

○電子媒体 1 部

を、

**6 月 14 日までに産学地域連携センター 岩窪（内線 2175）まで提出して下さい。**

また、上記申請書類の他に、以下の書類を一部ずつ添付して下さい。

- ・ 提案書受理表（別添 4）
- ・ 特に高く評価する項目に関する記述（別添 5）
- ・ 募集要項に記載のベンチャー企業に該当する事の説明（別添 6）
- ・ NEDO 研究開発プロジェクトの実績調査表（様式 1）
- ・ e-Rad 応募基本情報のプリントアウト

※提案代表者が e-Rad 上で応募基本情報を入力し、入力した内容を PDF ファイルとしてダウンロードし、プリントアウトしたもの。

申請書及び別添書類はこちらからダウンロードできます。

<https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EK/nedokoubo.2010-05-13.6438239033/>

附属産学・地域連携センター通信

担当 佐藤 準(産学官連携コーディネーター)・齊藤 亜耶

発行 札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール [renkei@sapmed.ac.jp](mailto:renkei@sapmed.ac.jp)